

採択大学：千葉大学（強化を図る機能：①、②）

参画機関：東京大学、筑波大学、東京理科大学 生命医科学研究所、理化学研究所、量子科学技術研究開発機構(QST)
University of California San Diego(UCSD) Center for Mucosal Immunology, Allergy and Vaccines(cMAV)、Center for Microbiome Innovation(CMI)

取組内容の概要

研究力が向上した10年後の大学ビジョン

“(i)～(iv)の研究領域において、**学び、研究し、イノベーションを創出する場**として、**国内外の学生や研究者に選ばれる大学**”となる。
【本学の強みや特色ある研究領域】 (i)免疫学・ワクチン学研究、(ii)予防医学研究、(iii)地球観測ビッグデータ統合解析研究
(iv)ニュートリノが拓くマルチメッセンジャー天文学研究

研究力の向上戦略 ～概要～

- ◆ 世界的卓越性を追求し、(i)領域を重点的に強化するとともに、「千葉大学 Biohealth Open Innovation Hub」(地域中核・特色ある研究大学施設整備事業により整備)を活用し、(i)(ii)のバイオ×健康領域のイノベーション創出を加速。
- ◆ (i)のグッドプラクティス等を横展開し、6年目以降に(iii)、(iv)領域を強化。さらに、学内に横展開し、**全学の中長期的な発展を目指す。**

バックキャストで設定された主な課題

- ① 先端技術・インフラと最先端研究をつなぐ体制・データサイエンス人材が必要
- ② 基礎研究から治験まで一気通貫したサポート体制・研究基盤、最先端技術や臨床検体へのアクセス体制が必要
- ③ 動物実験の代替法の開発、動物実験の最先端基盤が必要
- ④ 研究成果実装のため、柔軟なマネジメントが可能な学外組織が必要
- ⑤ 研究者と研究支援人材が車の両輪として活躍する環境整備が必要

10年後の大学ビジョンの実現に至るまでの主なプロセス・研究力向上計画

上記課題①～⑤等に対応

学内特区 ①対応

データサイエンスコア (DSC) の設置

- 柔軟な人事制度（企業とのクローポ、民間レベルの給与、ジョブ型雇用、学位取得サポート等）導入
- 本学の最先端研究に参画
- 情報・DS学府との連携、異分野・オープン学内外交流

学内特区 ②対応

ヒト免疫疾患治療研究・開発センター(cCHID)の設置

NIH CHIをベンチマーク 千葉大モデルの構築

- 臨床研究中核病院のメリット、AI基盤等を活用
- 最先端技術リソース提供、管理運営外部委託

③対応

次世代in vivo研究探索センター(cNIVR)の設置

NIH NCATSをベンチマーク

- 動物実験の代替法開発、in vitro研究、最先端基盤構築を並行して推進
- 治療学AI研究センター、理研・理科大の強みを活用

学外に設置 ④対応

千葉大学を核としたイノベーション・エコシステムの構築

- 本学出資の株式会社設立
- 地域ベンチャー投資ファンドへのLP出資
- JST/OPERA事業の成果の活用・発展

戦略全般に対応

国内外の大学・研究機関との連携の深化・拡大

- UCSDとの連携深化、ダブル・ジョイントディグリーなど若手研究者の育成強化
- トロント大、コーネル大等との組織間連携構築
- 東大、筑波大、理科大、理研、QSTの強みを活用

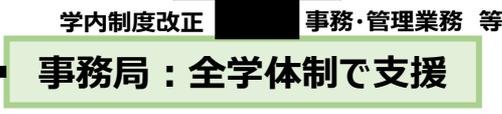
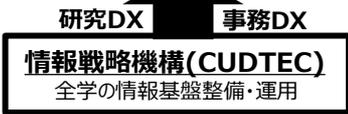
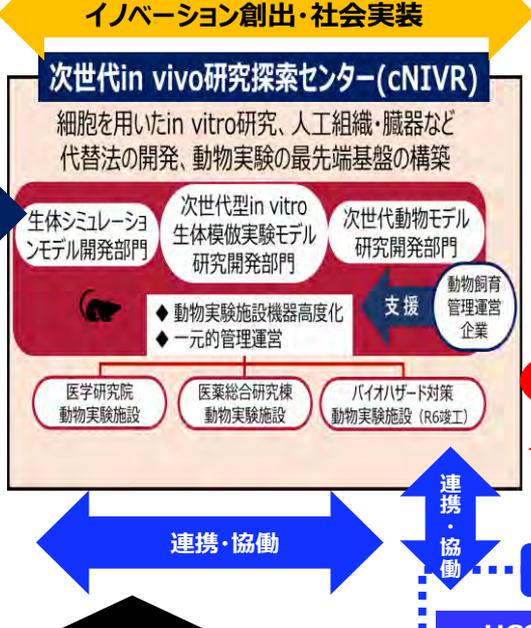
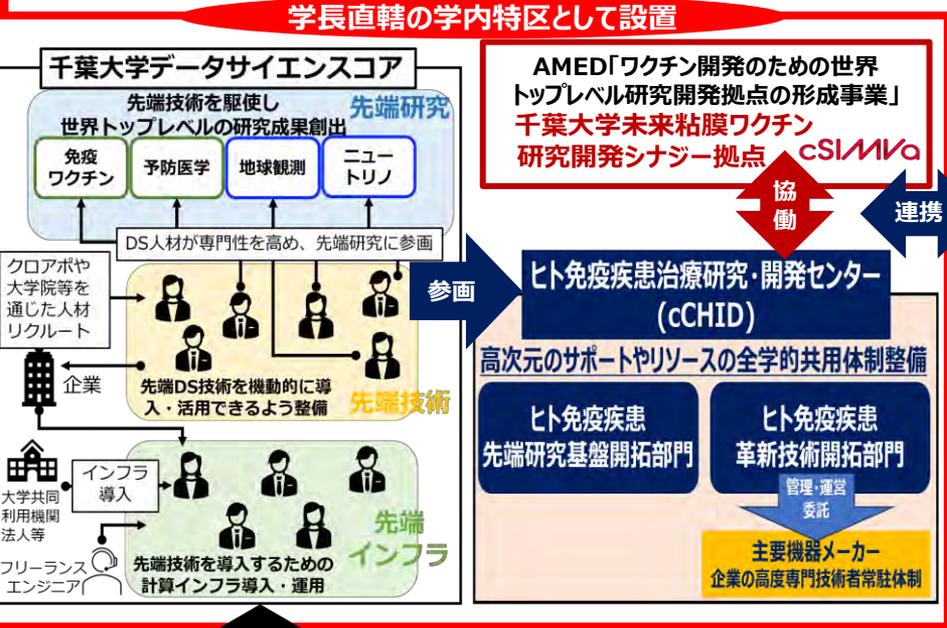
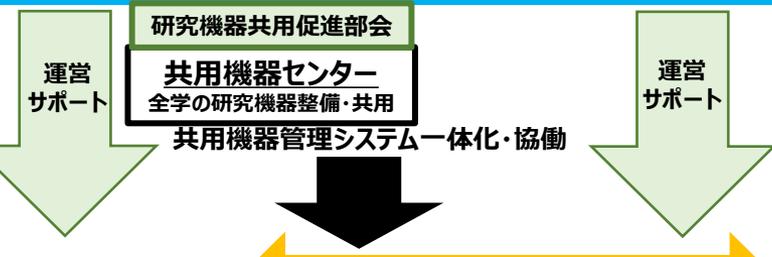
研究者及び研究支援人材の育成やキャリアパスの構築等 ⑤対応

【研究者】若手研究者の管理・運営実務負担軽減など、研究に専念できる研究環境整備、【研究支援人材】能力・実績等を踏まえた処遇、キャリアアップ制度等

全学指令塔として新たに設置
CHIBADAI 10-year Future 研究戦略推進会議 (仮称)
 議長：学長、主なメンバー：理事 (研究)、理事 (経営・基金)、事務局長・理事 (財務・施設等) 他



千葉大学 Biohealth Open Innovation Hub
 地域中核・特色ある研究大学の施設整備事業により整備



取組内容の時系列イメージ

研究力向上計画における取組	令和6年1月～6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	～令和15年度
	世界的卓越性を追求し、免疫学・ワクチン学研究を重点的強化、バイオ×健康領域のイノベーション創出を加速					学内横展開、重点領域拡大
千葉大学 Biohealth Open Innovation Hub	「東京大学新世代感染症センター」竣工、Hub整備	Hub利用開始	バイオ×健康領域のイノベーション創出加速 Hubでデータサイエンスコア(DSC)のイベント開催			
1.(1)データサイエンスコア(DSC)の設置	DSC設置、体制整備	(i)免疫学・ワクチン学研究に参画、本学が強みを持つ研究領域に順次参画 合宿形式ハッカソン・DSコンペ開催など、連携機関を含む学内外のオープンな連携・協働				
(2)ヒト免疫疾患治療研究・開発センター(cCHID)の設置	先端研究基盤開拓部門設置、体制整備	第1相試験施設整備等	細胞調整室整備等	AI導入、臨床試験DX等	試料等共有体制整備	NIH CHIを超える千葉大モデルを構築
	革新技術開拓部門設置、体制整備	管理・運営委託体制等整備	千葉大モデル展開外部委託全学横展開	NIH CHIと連携し、横断イニシアチブ整備		
(3)次世代in vivo 研究探索センター(cNIVR)の設置	動物実験施設の高度化・体制整備	次世代動物モデル研究開発部門設置	次世代型in vitro 生体模倣実験モデル研究開発部門等設置	新規動物モデル全学提供	全学の実験動物数削減を達成	NIH NCATSを超える動物実験の最先端基盤
(4)千葉大学を核としたイノベーション・エコシステムの構築	子会社設置手続き等	『研究開発プラン』、『研究開発資金の調達プラン』、『知財戦略プラン』を遂行し、実用化推進				自走化
	出資認可手続き等	LP出資開始、モニタリング等	二号ファンド検討開始	モニタリング・フィードバック		
	法人化準備	(ii)予防医学研究に関するコンソーシアム法人化、多世代疫学研究や「健康まちづくり」を展開				
(5)海外大学との連携の深化・拡大	UCSD CMIとの連携協定締結	コーネル大学MISTとの連携開始等	トロント大学との連携協定締結等	トロント大学との共同研究ラボ設置等	国際共同シンポジウム	環太平洋連携体制の基盤構築を牽引
2.(1) 大学ビジョン実現のための体制整備の具体的な計画	全学司令塔会議設置	研究力の向上戦略の全学指令塔としての活動を展開				
	研究設備導入・更新データ基盤高度化等	データ管理・公開機能拡張等	研究設備、データ基盤等の導入・更新、国内外における本学のレジリエンス向上等			
(2)戦略的な連携体制の構築及び学内外異分野融合の具体的な計画	学内外異分野連携の順次開始、クオアポ等	学内外異分野連携国際シンポ開催準備クオアポ	学内外異分野連携・フォローアップ、連携成果等を活用した新機軸の活動の展開 トロント大学とのクオアポ等の連携拡大			
3.研究者及び研究支援人材の育成等のための具体的な計画	研究者支援制度等検討、体制整備	順次制度等導入	制度等運用・フォローアップ、必要に応じた見直し			
	研究支援人材のキャリアアップ制度等整備・導入	順次制度等導入	制度等運用・フォローアップ、必要に応じた見直し			
4.持続的な発展に向けた組織改革等の具体的な計画	既存組織の廃止・改組業務の集約・合理化	(i)免疫学・ワクチン学研究の重点推進や総合知活用促進		社会・地域課題への総合知活用のグッドプラクティスの全学横展開 更なる組織改革の検討を進め、実行し、持続的に発展		

研究力が向上した10年後の大学ビジョン

本学の強みや特色ある研究領域において、学び、研究し、イノベーションを創出する場として、国内外の学生や研究者に選ばれる大学となる。